

## 2 水道水の飲用状況

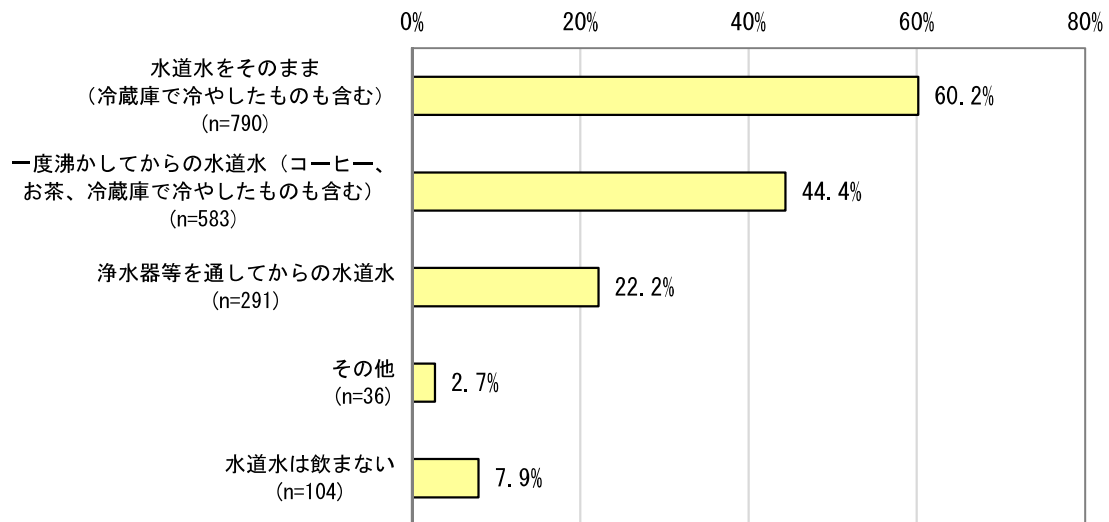
### 水道水の飲用状況についてお聞きします

問2 あなたが普段飲んでいる水道水は、次のうちどれですか。

(1～4について〇はいくつでも。ただし、5を選んだ場合は、1～4は選べません)

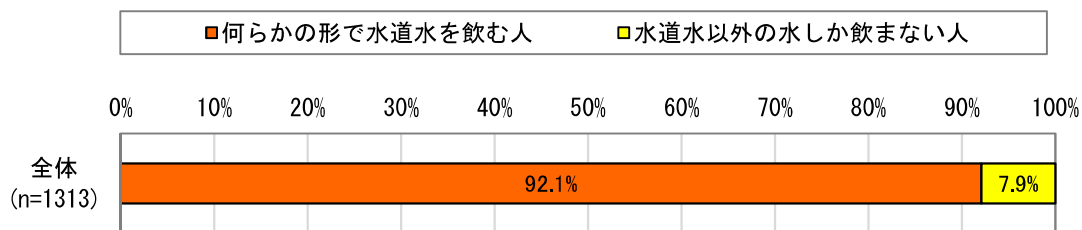
- 1 水道水をそのまま（冷蔵庫で冷やしたのものも含む）
- 2 一度沸かしてからの水道水（コーヒー、お茶、冷蔵庫で冷やしたのものも含む）
- 3 浄水器等を通してからの水道水
- 4 その他
- 5 水道水は飲まない

### (2) 水道水の飲用状況（複数回答）

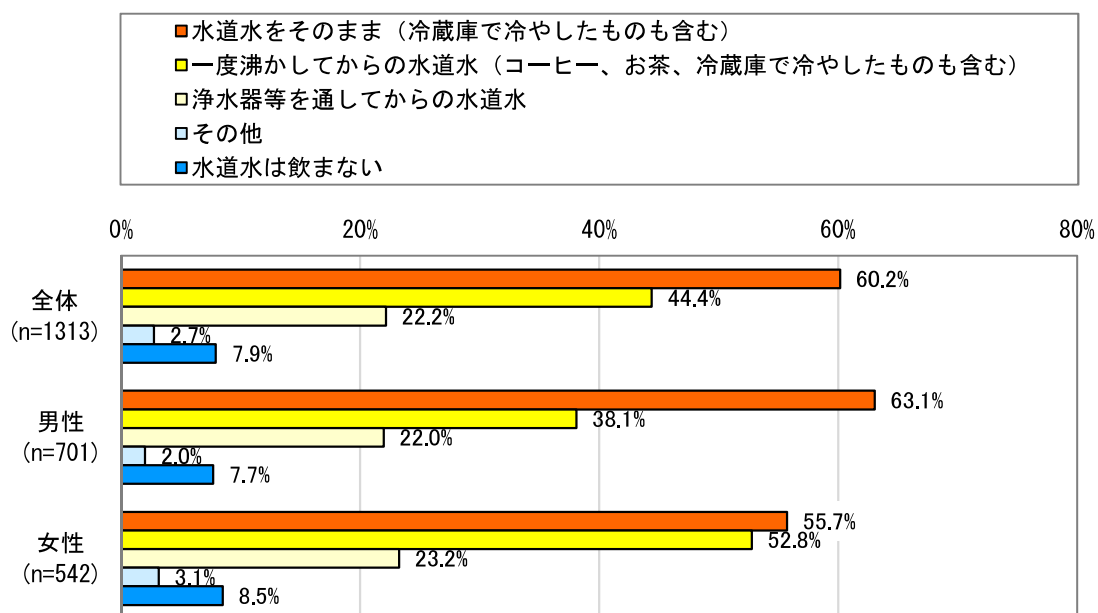


普段飲んでいる水道水について、『水道水をそのまま（冷蔵庫で冷やしたのものも含む）』と答えた割合が60.2%で最も高い。次いで『一度沸かしてからの水道水（コーヒー、お茶、冷蔵庫で冷やしたのものも含む）』が44.4%、『浄水器等を通してからの水道水』が22.2%と回答している。『水道水は飲まない』と答えた割合は、1割に満たない。

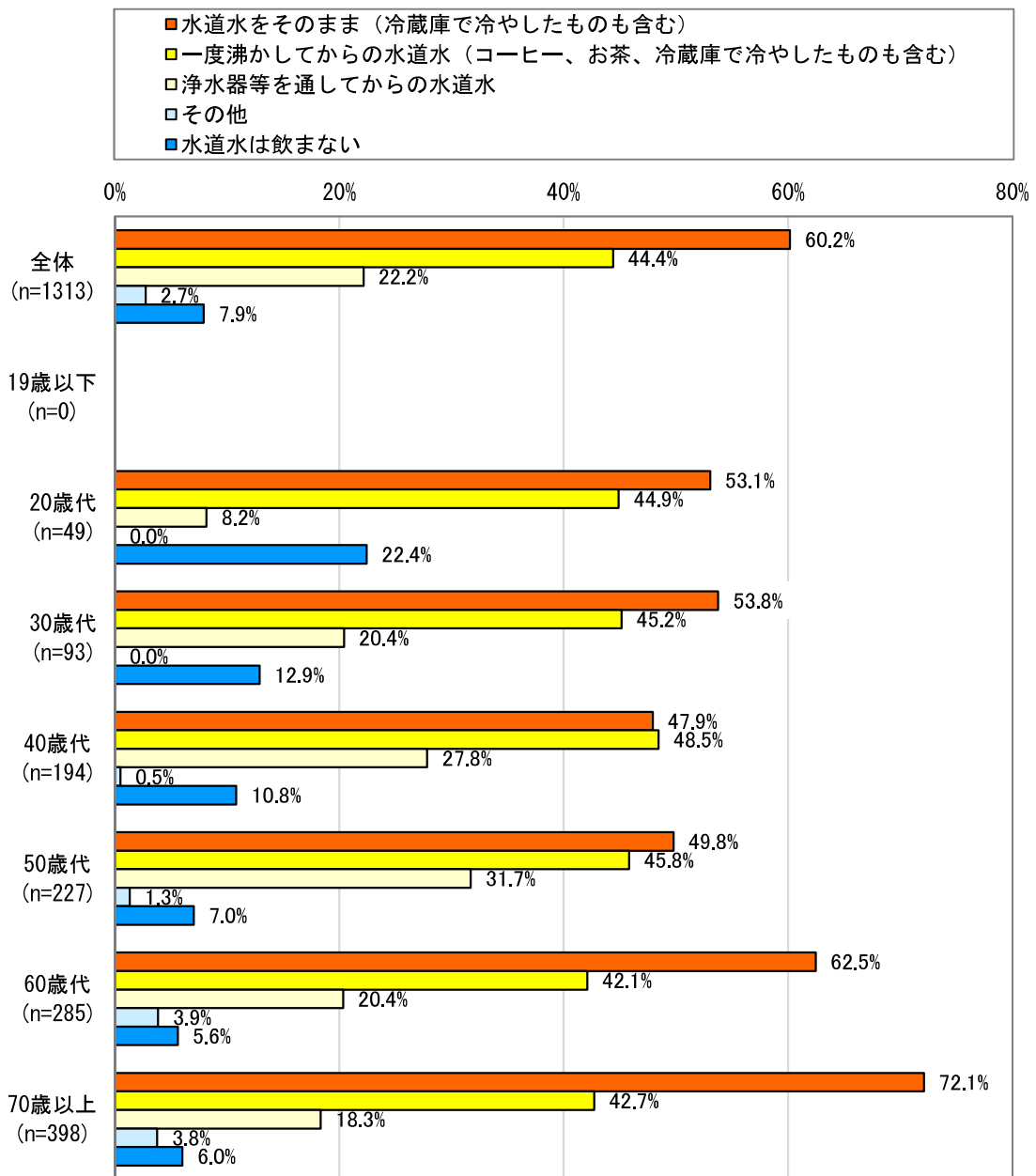
※補足：何らかの形で水道水を飲む人と水道水以外の水しか飲まない人との比較  
 (直接飲用率)



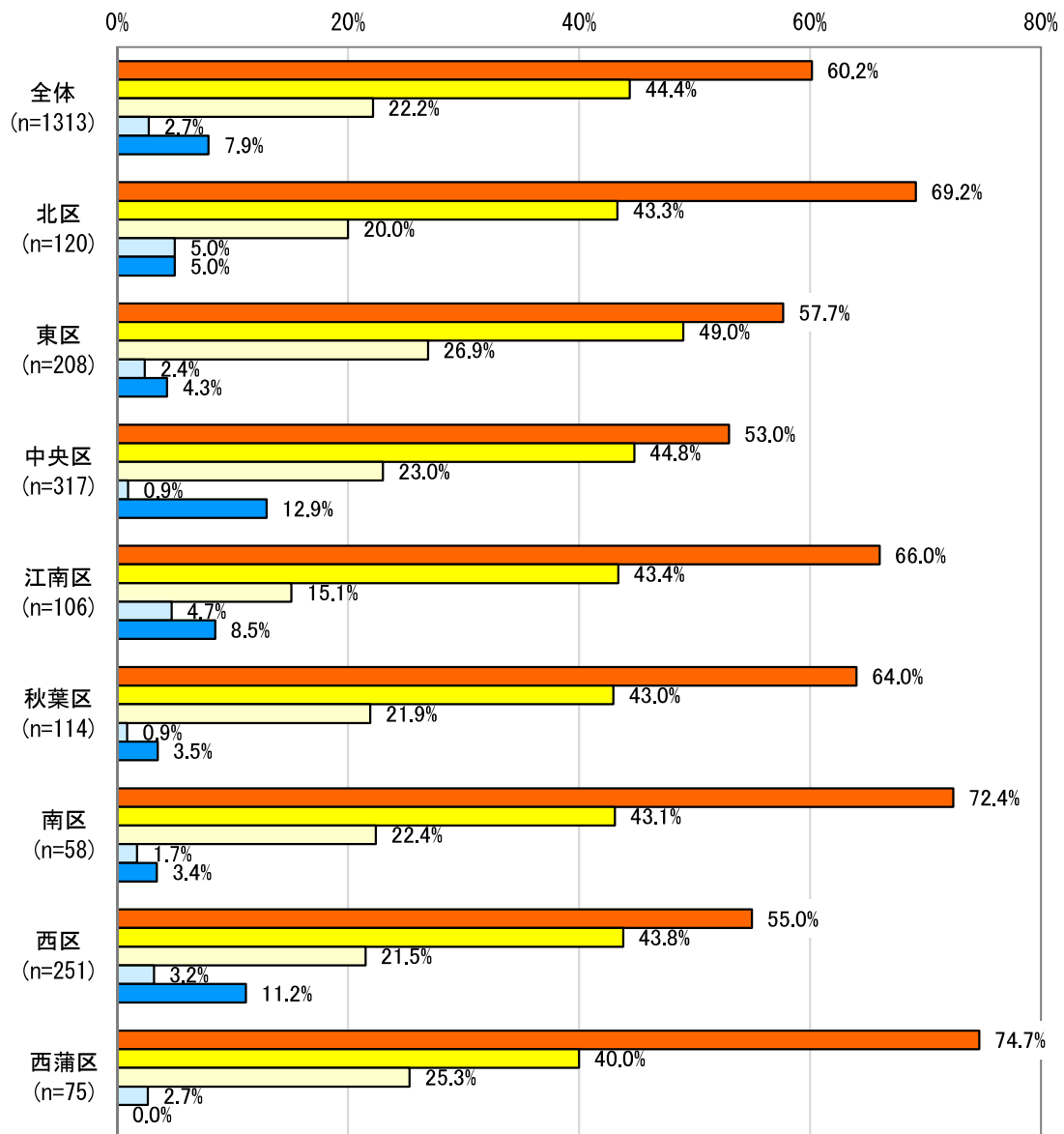
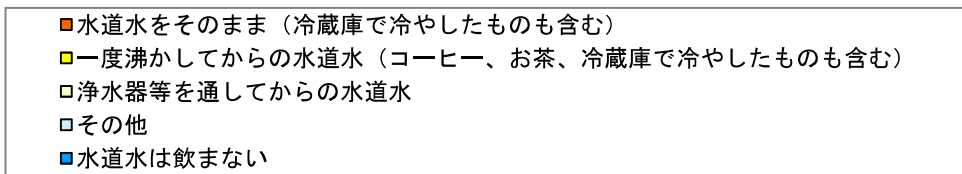
「何らかの形で水道水を飲む人」の割合が92.1%で、「水道水以外の水しか飲まない人」は、7.9%となっている。



性別で見ると、男女とも「水道水をそのまま」の割合が最も高いものの、女性では「一度沸かしてからの水道水」が僅差で続き、半数を超えており、男女差がみられる。

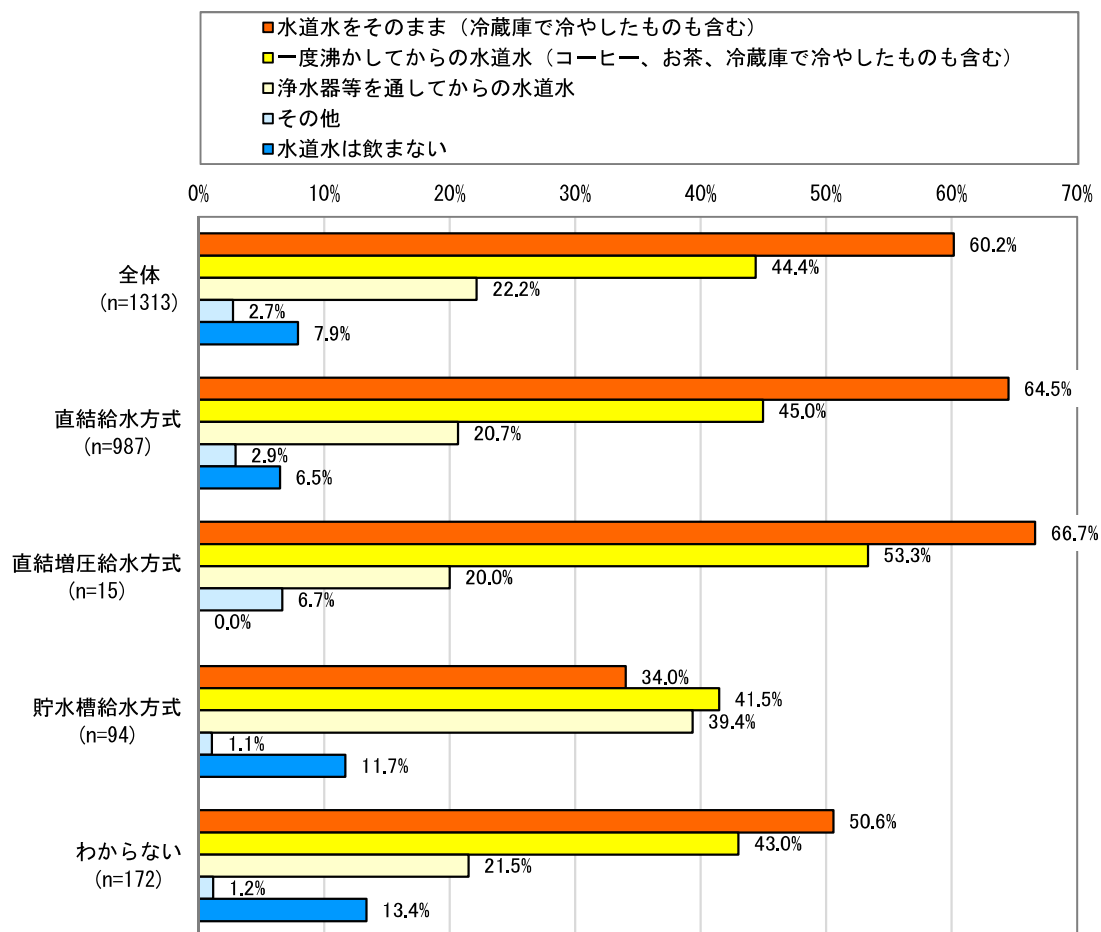


年代別でみると、「水道水をそのまま」の割合は70歳以上で最も高く、7割を超えた。「浄水器等を通してからの水道水」は、年代が上がるにつれて割合が高くなり、50歳代の約3割をピークに、60歳代から割合が低くなっている。「水道水は飲まない」の割合は20歳代で2割を超え、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。



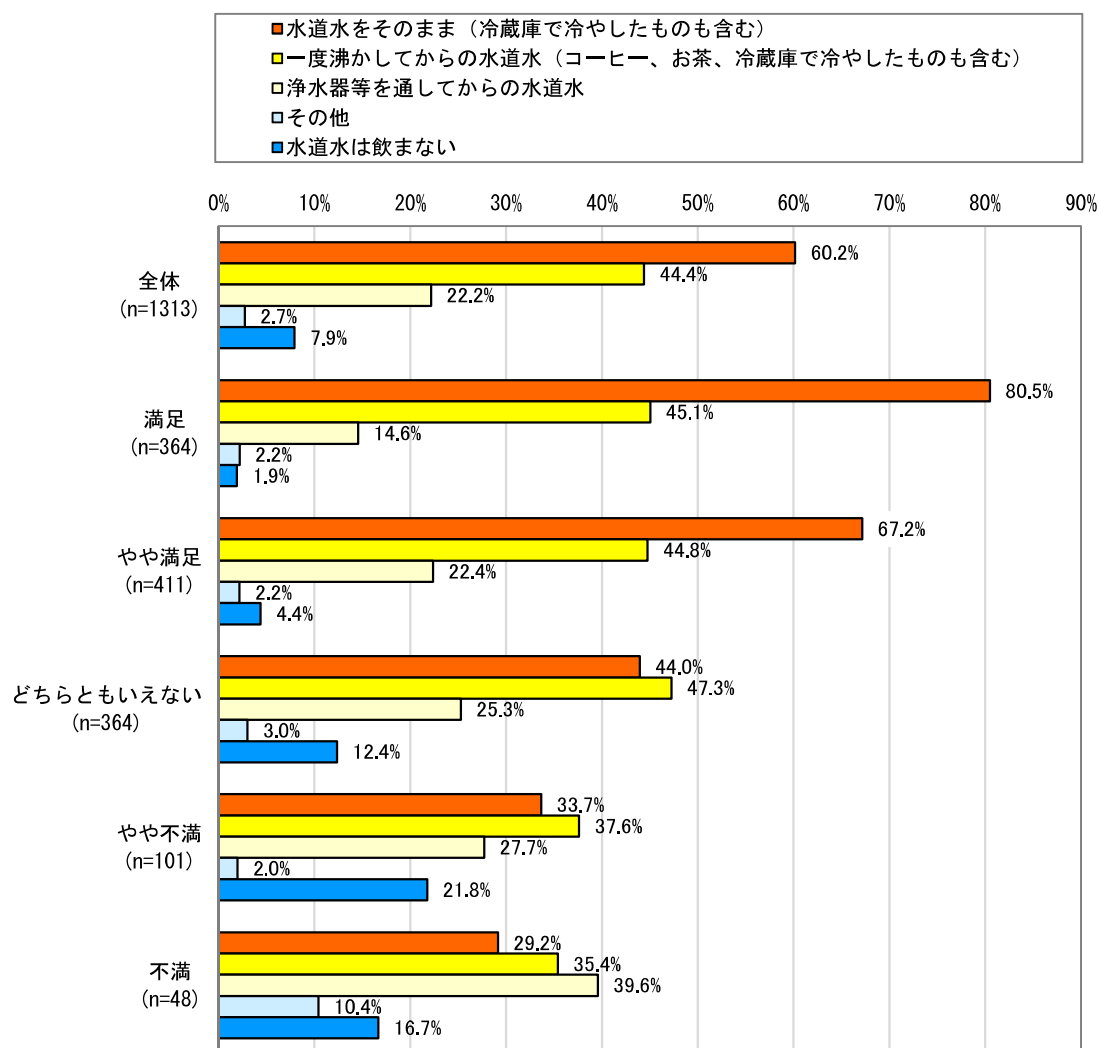
居住区別でみると、「水道水をそのまま」は、西蒲区が74.7%で最も高く、次いで南区が72.4%で、共に7割を超えた。東区・中央区・西区では6割に満たず、他の地区と比べて割合が低い。「水道水は飲まない」は、中央区が12.9%、西区が11.2%で、共に1割強で、他の地区と比べて割合が高い。

(水道水の飲用状況と給水方式別との関係)



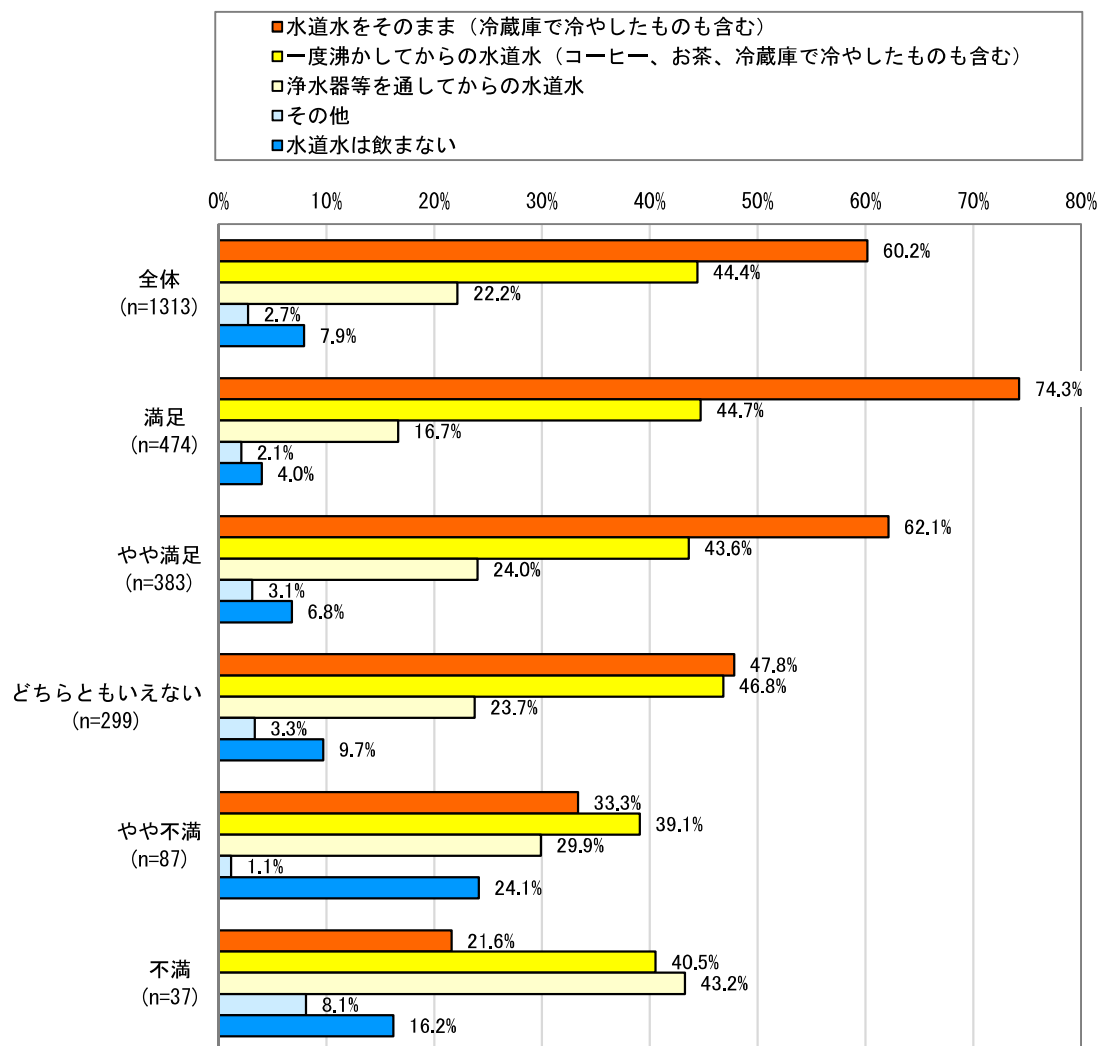
給水方式別でみると、「貯水槽給水方式」を除き『水道水をそのまま』と答えた割合が最も高い。「貯水槽給水方式」では『一度沸かしてからの水道水』『浄水器等を通してからの水道水』と答えた割合が『水道水をそのまま』と答えた割合よりも高く、『浄水器等を通してからの水道水』は、他の項目の2倍近い割合となっている。

(水道水の飲用状況と味（おいしさ）の満足度別との関係)



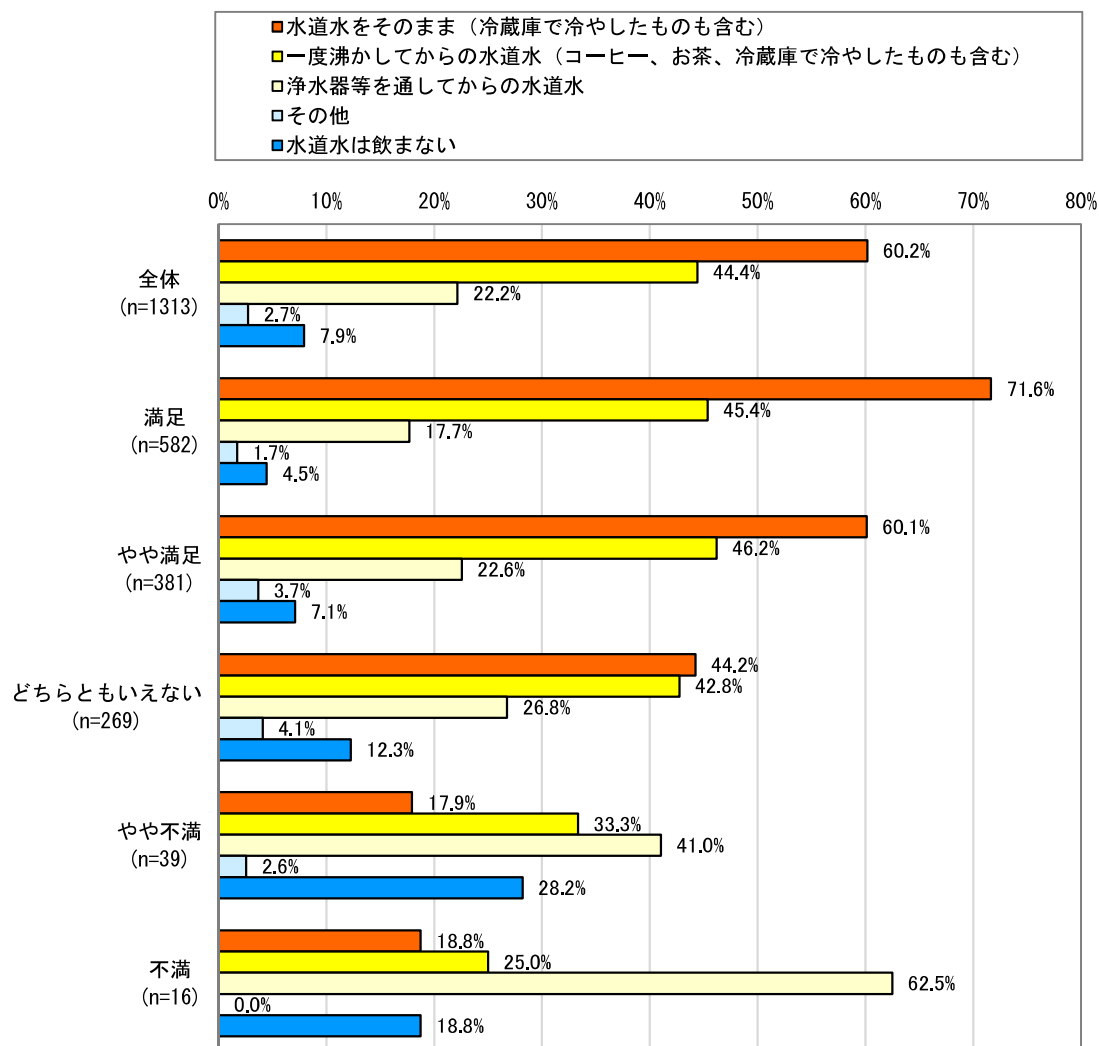
味（おいしさ）の満足度別で見ると、『水道水をそのまま』の割合は、満足度が高いほど割合が高い傾向がみられ、「満足」では80.5%で約8割を占めている。一方、『浄水器等を通してからの水道水』は、満足度が低いほど割合が高い傾向がみられ、「不満」では39.6%で約4割を占め、割合が最も高い。

(飲用状況とにの満足度別との関係)



にの満足度別でみると、『水道水をそのまま』の割合は、満足度が高いほど割合が高い傾向がみられ、「満足」では74.3%で約7割半ばを占めている。一方、『浄水器等を通してからの水道水』は、概ね満足度が低いほど割合が高い傾向がみられ、「不満」では43.2%で4割強を占め、割合が最も高い。

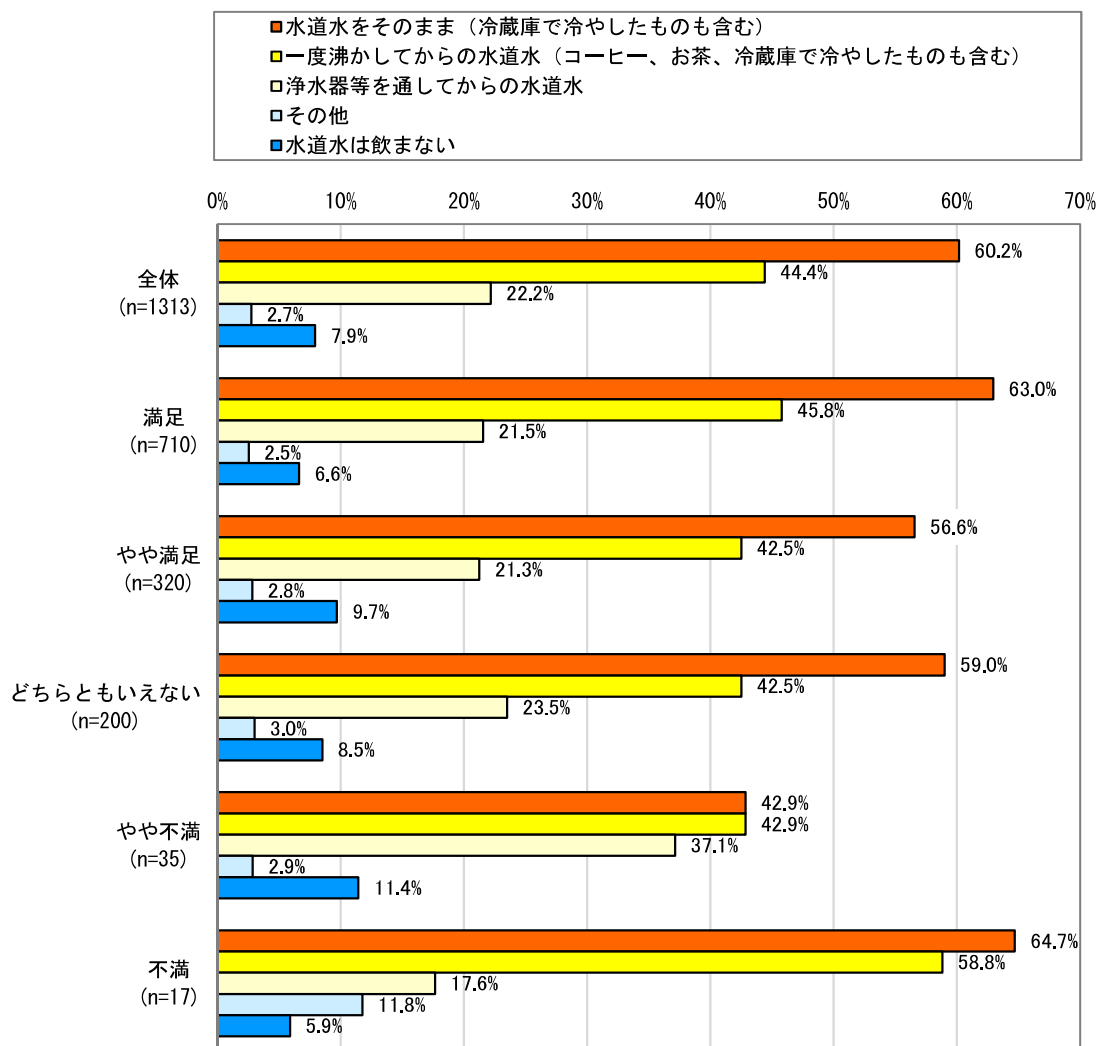
(飲用状況と安全性の満足度別との関係)



安全性の満足度別でみると、『水道水をそのまま』『一度沸かしてからの水道水』の割合は、概ね満足度が高いほど割合が高い傾向がみられる。「満足」では『水道水をそのまま』と答えた割合が71.6%で最も高い。一方、『浄水器等を通してからの水道水』は、満足度が低いほど割合が高い傾向がみられ、「不満」では62.5%で突出している。



(飲用状況と水の量や勢いの満足度との関係)



水の量や勢いの満足度でみると、「やや不満」を除き『水道水をそのまま』と回答した割合が最も高く、5割半ばから6割半ばを占めている。「やや不満」では『水道水をそのまま』『一度沸かしてからの水道水』が共に42.9%で同じ割合となっている。「やや不満」は、『浄水器等を通してからの水道水』と回答した割合が4割弱で、他の満足度と比べて割合が高い。